

渡辺ハウジングOBの皆様と
来葉のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



3月は「弥生」とか「桜月」ともいわれ、桜をはじめとする春の花々が咲き、1年を通じ一番はなやぐ頃です。

でも、花冷えという言葉もあり、まだまだ油断大敵。体調にはくれぐれも気をつけてお過ごしください。この時期、こころはずむ一方、やはり忘れられないのは東日本大震災のことです。

未だ復興がままならず、辛い日々をお過ごしの方たちを思うところが痛みます。

もう「頑張っ！」とは言いません。皆さんは、今まで十分頑張られたのですから……。少しお休みして、心身のお疲れを癒してくださいね。でも大丈夫。

私たちは、皆さんのことを決して忘れません。これからもず〜っと応援しています。

東北地方でも、きれいな桜があちらこちらで見られることでしょう。

桜からパワーをいただいて、どうぞお元気でお過ごしください！



今年から、家づくりをより身近に感じていただけるよう、職人さんを含む様々な立場の方たちを、順次紹介させていただくことにしました。

前月、基礎工事が終わりましたので、今回からいよいよ家を建てるために必要な材料に関わる業者さんを紹介させていただきます。

まずは、**ジャパン建材**さん。

建築業界では知らない人はいないくらい有名な会社です。

合板、内外装建材、住設機器など住宅を建てるのに必要な各種資材を取り扱っています。



当社は、設立時から本当に長いお付き合いをさせていただいています。

当然、営業担当さんも何人も代わりますが、どなたも皆、真面目で信頼できる方たちです。現在は、千葉県柏市出身の小林さんが、当社の窓口です。

最近生まれたばかりのお嬢さんが可愛くて・・・自称イクメン。でも、仕事に関しては厳しくて、「働かざる者、食うべからず」と、心に決め、お腹いっぱい食べられるよう日々頑張っているそう。「今日より明日」を目指し、前進する若くて力強いお父さんです。これからもよろしくお願ひいたします。



「お饞別」

春は、転勤や引越しのシーズンです。遠くに行かれる方に「お饞別」として贈り物をする方も多いことでしょう。

本来、お饞別は遠くへ旅立つ人に、はな向けの気持を込めて金品を贈ることです。

昔は今と違い、旅は手軽で安全なものではありませんでした。

旅立つ人に贈る饞別は、別れのしるしでもあったのです。

今は、そういった意味合いは薄れているでしょうが、またお会いする機会がある方へ贈る場合には状況により、

「栄転祝」「昇進祝」や「退職祝」または「御礼」などとする方が
良いかもしれませんね。





女性教師と子供の出会い

ある新米の先生が、実際に体験した出来事です。

5年生の担任として就任した時、服装がだらしく、どうしても好きになれない一人の少年がいました。先生は、中間記録に少年の悪いところばかりを記入するようになっていました。

ある時、その少年の1年生からの記録が目にとまりました。

「朗らかで、友達好きで、誰にでも親切で、勉強も良く出来、将来が楽しみ」とあります。先生は???・・・これは何かの間違いだ。他の生徒の記録に違いない、そう思いました。

2年生になると、「母親が病気で、世話をしなければならず、時々遅刻する」

3年生では、「母親の病気が悪くなり、疲れていて、教室で居眠りをする」そして後半の記録には、「母親が死亡。希望を失い悲しんでいる」

4年生になると、「父は生きる意欲を失い、アルコール依存症となり、子供に暴力を振るう」とありました。

先生の胸に痛みが走りました。

ダメと決め付けていた子が深い悲しみの中を生き抜いている。

先生にとって、

目を開かされた瞬間でした。



ある日の放課後、少年に声を掛けました。

「先生は夕方まで教室で仕事をするから、あなたも勉強していかない？」

わからないところは教えてあげるから」

少年は、輝くような瞳と笑顔で「はい!」と応えました。それから毎日、少年は教室の自分の机で予習・復習を熱心に続けました。

6年生では、少年の担任から離れてしまいましたが、卒業の時、少年から1枚のカードが届きました。

「先生は僕のお母さんのようです。そして、今まで出会った中で1番素晴らしい先生でした」

それから6年後、またカードが届きました。

「明日は高校の卒業式です。僕は、5年生で先生に担当してもらってとても幸せでした。おかげで奨学金をもらい、医学部に進学することができました」

10年を経て、またカードが届きました。

「あのままダメになってしまう僕を救って

くださった先生を神様のように感じました。

大人になり、患者さんの痛みがわかる

医者になれた僕にとって、

最高の先生は5年生の時に担任して

くださった先生です」



そして1年後、届いたカードは

「母の席に座ってください」と、書き添えられた結婚式の招待状でした。

先生の深い愛情で自分を取り戻した少年と、人を育むということを身をもって学んだ先生のお話です。

素晴らしい二人の出会いに乾杯!!

「編集後記」

陽射しも急にやわらかくなりましたね。

3月は、入園・入学、進学・卒業そして就職、転勤など、新生活への準備に心はずむ頃です。

と同時に、忙しくてお疲れも重なることでしょう。無理をせず、どうぞお元気でお過ごしください。

今月もお読みいただき有難うございました。

ご意見・ご感想をお聞かせいただけると嬉しいです!



編集責任者

渡辺 田鶴子